

表6 記録された参考質問の分析 (昭和42.3~43.3)

質問類型	N D C	主題に関する分析											質問形式による分析		
		郷土	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工学工業	芸術	語学	文学	計	%	口答	電書
個人・団体に関すること	26	3	7	12	2	6	4	6	66	14	39	21	6		
歴史に関すること	9	2	3	7	4	2	2	2	33	7	24	8	1		
地理・地名に関すること	9	14							26	5	17	6	3		
言葉に関すること	2	2	1	2				2	17	3	11	6			
統計・データに関すること	13	4		11	1	2	13		44	9	36	8			
法規・手続に関すること	2			8	4	1	2		17	3	12	3	2		
写真・図版に関すること	11	2	4	2	6	4	2	4	2	37	8	26	9		
最近のニュースに関すること	7			9	1		1		18	3	14	4			
事物の内容に関すること	11	2	3	2	7	9	8	7	7	61	13	44	12		
書誌に関すること	26	8	9	17	24	8	8	7	4	6	23	140	30		
計	114	14	21	49	81	37	25	42	21	10	45	459	319		
%	25	3	5	11	18	8	5	9	4	2	10				

表7 特許関係調査相談状況 (昭和42.4~43.3)

職業別種別	調査相談をうけた件数							閲覧人員(人)
	公務員	会社員	商業	団体職	自由業	農業	計(件)	
特許	3	12	9	2			3	29
実用新案	2	16	10	1	1		3	33
意匠		1	3	1				5
商標		3	4					7
審決							1	1
その他		1	1	1				3
計	5	33	27	5	1	7	78	213

表8 複写サービスの処理件数 (昭和42.4~43.3)

資料別	取扱件数
特許公報類	9
新聞	46
雑誌	8
参考図書	43
郷土資料	33
一般図書	19
官報	2
計	160

表9 過去5カ年間の利用状況の推移

I 利用者数

層別	年度	38	39	40	41	42
一般学生・生徒(大・高・中)	26,962	25,420	25,390	30,162	24,270	
	91,075	77,755	55,665	71,251	73,441	
	6,576	7,569	5,012	4,989	5,678	
計	124,613	110,744	86,067	106,405	103,389	

II 利用図書冊数

年度	38	39	40	41	42
一般図書	25,367	24,088	18,377	18,514	17,474
同上(館外)	13,532	13,385	10,377	16,242	19,360
児童図書	20,736	18,089	12,393	10,506	13,943
雑誌	4,669	3,528	2,990	2,456	2,976
計	64,304	59,090	44,134	47,718	53,753

第4節 館外奉仕

1 移動図書館および貸出文庫

昭和29年に移動図書館の巡回を開始してから13年、その間いくつの変遷を経て、移動図書館の高度利用化を目標に、地道な行動を続けて今日の基礎を築いてきた。

当初は県内65カ所に駐車場を設けて個人貸出しを主にサービスしてきたが、少ない図書費で多くの図書を買ひ、有効に使わなくてはならないという実情から、昭和31年には団体貸出しに切り換えた。そして昨年は駐車場 174、利用団体数 409に及んだ。

本年度は、当初の計画通り巡回を実施して、駐車場 196、利用団体 437と若干の伸びをみ、利用冊数も昨年の36,467冊を約 6,000冊上回る42,568冊となった。勿論このあらわれた数字だけがすべてではないが、一つの目安と考えられる。それにしても、まだまだ満足すべき数字ではない。これは単に図書館の対外活動の伸び悩みだけでなく、社会教育すべてについていえることで、戦後のアメリカ的な消費生活が、老若男女を労働に従事させていることが大きな原因と考えられる。

また小さな問題としてはすまされないこととしては、館外活動に投入する図書費予算の削減である。国庫補助の削減により、年度途中で削られ、当初の計画を大きく狂わせ、県民の要求に満足いく資料が提供できなかったことである。

また、移動図書館あづま号(第2号車)も8年間約8万kmの走行により老朽化してき、構造も激増する交通量に耐えて貸出業務を行なうことが困難となってきたので、明年度は、これらの事情に耐えて、快適な設備を施して、県民に親しまれるようなスタイルで走り続けたい。

各管内の利用状況→(表10・11・12)